

現認證明書

被認定者本籍

會社所在地

會社名

役名

陸軍航空本部臨時無給屬託
委任役(務備後陸軍少佐)

年 月 日生

右者昭南市第三航空軍要員トシテ赴任ノ為メ陸軍輸送船帝亞丸ニ便乗
飛行中昭和十九年八月十八日午後十時頃バーレーン海峡附近ニ於テ敵潜水艦
ノ雷撃ヲ受ケ遭難沈没シ其後行衛不明トナリ今日ニ至ルモニシテ當時
状況ヨリシテ其際死セラルト判断ス

右現認不
尚現認證明人ハ終始本人ト行動ヲ共ニス

證明人 本籍

現住所
會社名

陸軍航空本部臨時無給屬託
委任役(務備後陸軍少尉)

現認證明書

被認定者 本籍
會社所在地
會社名

役名

[Redacted]

陸軍航空本部臨時無給嘱託
被認定者氏名

年 月 日生

右ノ者昭南市第三航空軍要員トシテ在任ノ爲陸軍輸送船
帝座丸ニ便乘航行中昭和十九年一月十八日午後十時頃ハレシ海峽
附近ニ於テ米灣米艦ノ雷撃ヲ受ケ沈没遭難シ其ノ後行方不明
トナリシモノニシテ當時ノ状況ヨリシテ其ノ際死セラルト判断ス
右現認ス
右現認證明人ハ終始本人ト行動共ニス

昭和二十一年七月 日

證明人 本籍

現住所

會社名

[Redacted]

陸軍航空本部臨時無給嘱託
姜任攻豫備隊陸軍少尉

死亡事實證明書

籍別

住所

所屬部隊

死亡前階級

姓名

職守

右ノ者昭和一九年八月十八日帝軍丸沈没、為戦死ス

右ノ者昭和一九年八月十八日

昭和二十一年一月十三日

現住所

部隊名

職氏名

右ニ同シ

南武 待機 一五四六

二 死亡後階級

昭和一九

役種

團

一

南射

一

年

月

日

一五四六

上

59-11

現認(事實)證明書

本籍

所屬部隊名 東部第九部隊 戦軍隊之隊

(官等級) 陸軍二等兵 (氏名)

一 死亡年月日時 昭和十九年八月十九日 午後一時三十分

一 死亡場所 大島ルンバニ海峽

一 死亡區分 戦死

一 當時の状況

右の通證明す

昭和十九年八月十九日

現住所

前属部隊名 東部第九部隊 戦軍隊之隊

野戦賞功

陸軍二等兵

備印方面ニ増加配属部隊トシテ予テ九月ニ
乗船前部海峡航行中敵潜水艦ニ遭遇
襲撃ニ依リ深没此際海没戦死

32-11

寫

死亡現認證明書

昭和十九年八月廿日調製

所屬部隊	固有名ニ六ノ中隊隊	死亡場所	バンシー海峽
本籍地	面稱號 泉五三三〇	死亡年月日	昭和十九年八月十九日
死前階級	兵長	死亡区分	戦死
氏名	[Redacted]	受傷箇所	海没
遺留遺品	なし	疾病年月日	なし

現認理由
 昭和十九年八月十九日、釜山出帆北島前進中、バンシー海峽に於て敵潜水艦、魚雷攻撃を受け乗船沈没時海没死とす。

記載の上の注意
 一 現認事由は當時の状況詳細に記す
 一 本證明書は三部作製す
 一 階級は必ず死前を記入す
 一 死亡区分對死の時は受傷箇所と戦病死の時、病名發病年月日を記入す
 一 死亡場所死亡年月日死亡区分の確定正確なる時は甲、豫め確定分ら時は乙、疑はしき時は丙と其下に記入す

證明者

元所屬部隊	泉五三三〇
本籍地	[Redacted]
現住所	[Redacted]
階級 氏名	兵長 [Redacted]
氏名の下に必ず印を押しす	印

戦死者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 陸軍第一七六五部隊
- 二、戦災年 昭和十五年 柳元兵衛 兵衛
- 三、階級(死後) 一等兵 (死後)
- 四、氏名 [Redacted]
- 五、死歿場所 [Redacted]
- 六、死亡原因(事由) [Redacted]
- 七、死歿年月日時間 [Redacted]
- 八、死歿者本籍地留守担当者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 二十一年 月 日

元所属部隊名 陸軍第一七六五部隊

現住所 [Redacted]

元官等級 陸軍少佐

氏名 印 [Redacted]

註、死亡事山、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニオフ者ハツシ前後ヲ

クワシク知ラセホシ

宛先 [Redacted]

陸軍部 戦死者確認係

死亡現認書		昭和	年	月	日
死者	本籍地	[REDACTED]			
	現住所	石河			
	所属部隊名	第三師団第四大隊第三中隊			
	官職氏名	陸軍軍馬 (別任格) [REDACTED]			
	死亡年月日	昭和十九年九月八日		(曜日 甲)	
	死亡場所	シシラケオ島スリカオ		(曜日 甲)	
死亡区分	死亡事由	戦死			
	傷病名	頭部貫通銃創			
遺骨・遺品の状況	遺骨あり、友方より [REDACTED] 所持、本人行衛不明、遺骨あり、遺品あり、[REDACTED] 不詳、所持なし				

右現認す

現認者 本籍地 [REDACTED]
 現住所 石河
 死没者との関係 親友
 所属部隊 威勢二六八部隊勤務中隊
 元職官氏名印 人馬一功 陸軍准尉 [REDACTED]

記載上の注意

1. 曜日は甲(曜日)、乙(曜日)、丙(曜日)等の区分で記入する
2. 死亡事由欄には傷、貫通銃創、或はマラリア、コレラ等の病名を記入する
3. 死没者との関係は中、小隊長、分隊長、親友等記入する

死 亡 証 明 書

現 認 現	死		亡		現 認 事 由
	所 属 部 隊 名	官 等 級 氏 名	本 籍 地	死 亡 年 月 日	
現 住 所	比 島 巡 査 隊 第 一 小 隊	陸 軍 歩 兵 上 等 兵	[Redacted]	昭 和 十 九 年 九 月 十 二 日	昭 和 十 九 年 九 月 十 二 日 敵 グ ラ マ ン の 空 襲 中 南 原 地 村 陸 軍 病 院 に 行 方 不 明 とな った。昭 和 十 九 年 九 月 十 二 日 敵 グ ラ マ ン の 空 襲 中 南 原 地 村 陸 軍 病 院 に 行 方 不 明 とな った。昭 和 十 九 年 九 月 十 二 日 敵 グ ラ マ ン の 空 襲 中 南 原 地 村 陸 軍 病 院 に 行 方 不 明 とな った。
現 認 事 由	比 島 巡 査 隊 第 一 小 隊	陸 軍 歩 兵 上 等 兵	[Redacted]	昭 和 十 九 年 九 月 十 二 日	昭 和 十 九 年 九 月 十 二 日 敵 グ ラ マ ン の 空 襲 中 南 原 地 村 陸 軍 病 院 に 行 方 不 明 とな った。

記 載 上 の 注 意

昭 和 十 九 年 九 月 十 二 日 敵 グ ラ マ ン の 空 襲 中 南 原 地 村 陸 軍 病 院 に 行 方 不 明 とな った。昭 和 十 九 年 九 月 十 二 日 敵 グ ラ マ ン の 空 襲 中 南 原 地 村 陸 軍 病 院 に 行 方 不 明 とな った。昭 和 十 九 年 九 月 十 二 日 敵 グ ラ マ ン の 空 襲 中 南 原 地 村 陸 軍 病 院 に 行 方 不 明 とな った。

25-11

昭和二十三年六月二十日

死亡事實證明書		地方世話部	
本籍地 [Redacted]			
所属部隊固有名 [Redacted] 第十一〇二部隊			
敬異年 (任官年)	位	種	死亡前官位 氏名 同族令年月日
	少	兵	[Redacted] 氏名 [Redacted] 生年月日 [Redacted]
現	守	住	所
			[Redacted]
婚	會	者	親稱氏名
			父 [Redacted]
死亡年	月	日	時
昭和十九年	九月	十四日	零時
死亡事由	傷	病	死
			作戦中自刃果敢 昭和 入院
死亡後略	葬	の	要
	佳	否	否
	佳	否	否
死亡	状	記	
昭和十九年九月十四日中食後三ツ地区に於て 作戦中自刃果敢、父一軍三五名を討つ途中 陣亡、方志記に於て電話二床アリ 軍上ニ送リ [Redacted] 地区ニ投出され病院ニ入り途中 死亡なり			

1-10

右の通り相違なきことを証明する

昭和二十三年六月二十日

本籍地 [Redacted]
 (現在所) 父 [Redacted]
 所属部隊 第十一〇二部隊
 親稱氏名 陸軍中隊長 [Redacted]